



Point
ポスターやPR動画で
分かりやすくメリットを
伝えられるように
なりました。

代表取締役 **伊藤 毅**
いとう たけし

電子機器設計の知見を介護製品へ応用 独自技術を効果的にPR

独自技術で開発した排泄ケア製品

電子機器の設計会社としての技術や知識を生かし、介護製品を開発している株式会社秋田テクノデザイン。昨年末に販売を開始した排泄感知システム「しらせるぞう」が注目を集めている。開発のきっかけは11年前。代表取締役の伊藤毅さんが、自身の母親の介護経験から、「電子機器設計の技術力を介護分野に活かしたい」という想いで開発したのが、前身となる排泄検知センサーシステムだった。しかし販売して間もなく、センサーを製造していた福島の工場が東日本大震災で被災し、製造中止に。その後2019年、介護ロボット宮城県協議会から「排泄を分析する製品がないので、以前のセンサーシステムを高機能化して欲しい」と打診され、付き合いのあった介護施設の協力を得て市場調査を実施。現場からも排泄ケアを向上させたいとの要望を受け、県産業技術センターとの共同開発に取り掛かった。

販売チャネル拡充を目指して

本製品は、フィルムタイプの排泄センサーをオムツへ取り付け、尿量を24時間計測し、Wi-Fiでパソコンやスマートフォンへ自動通知する仕組み。これにより排泄の放置や無排泄時の交換が回避され、被介護者の苦痛と介護スタッフの負担が軽減されるとともに、適正なオムツの選択や交換により経費削減にもつながる。尿量の正確性だけでなく水様便にも対応するよう、様々な実験を繰り返して独自のアルゴリズムを完成させた。活性化センターの知財総合支援窓口のサポートを受け、現在、特許の出願審査請求中だ。また、センターの「ライフサイエンス人材育成補助金」を活用した動画とポスターでPRにも注力。販売開始から約1ヶ月で、全国の介護施設や代理店22ヶ所から問い合わせがあり、広い販路を持つ株式会社かんきょうに東日本での販売を依頼している。今後は、音を併用した通知への改良を進め、西日本での販売チャネルの確立と、個人購入の負担軽減のために介護保険適用を目指していく。

センター活用事例

[補助金活用・特許出願]

株式会社秋田テクノデザイン

〒010-0041 秋田県秋田市広面字谷地田46-1
フォレスト2005 201号室
TEL.018-853-4215 FAX.018-853-4216
<http://www.akita-techno.co.jp>



活用事例

ライフサイエンス人材育成事業[補助金等]

ライフサイエンス関連分野における事業化を促進するため、県内企業による市場調査等を支援し、最新動向の情報提供を行います。

【お問い合わせ】 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702

知財の総合支援窓口

特許や商標などの知的財産の出願・権利化、技術ノウハウ等の知的財産の秘匿管理、知的財産のビジネス活用などに関するお悩みや課題の解決を支援します。

【お問い合わせ】 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614